

1年 社会科

教科の重点目標

主体的な学習者の育成

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第1学年	<p>(主体的に考える力を育てる)</p> <p>第1学年については、1学期期末テストの結果より、「思考・判断・表現」する能力に努力を要する生徒が多数見られた。物事を多面的・多角的に見て、それを自らの言葉で表現し、互いに共有する力が求められる。また、主体的に学習に臨むことで、学習効率も良くなると思う。</p> <p>(歴史的分野)</p> <p>学習内容に対して、多くの生徒が関心を示しており、意欲的に取り組んでいる。授業では積極的に発言し、自らの考えを発言する姿が見られる。一方で、歴史的事象の背景などについて、「なぜ」、「どうして」という探求心を持って授業に取り組んでいる生徒が少ない。</p> <p>(地理的分野)</p> <p>年度当初は学習内容に対して、関心を示す生徒が少なかった。しかしながら、1学期終盤になると興味を持って取り組む生徒が多く見られた。課題としては、さまざまな事象についての背景・結果についてただ暗記するだけでなく、自分の言葉で書くことや、発表するなどの表現をする能力が求められる。</p>	<p>(主体的に考える力を育てる)</p> <p>授業の中において、ノートやワークシートを用いて、事柄の背景や結果などを予想して、自分の言葉で表現する場を設ける。表現する場では、自分の言葉で「書く」、「話す」だけではなく、仲間と意見を「共有」し、合わさる部分や違いを感じて、様々な主義主張があることを理解させる取り組みを行う。</p> <p>(共通①)</p> <p>授業者が具体的かつ、工夫した発問をすることが必要である。ただ、教えて覚えさせるだけでなく、「なぜ」、「どうして」ということを授業の導入部分について生徒全体に投げかける。それをノートや、ワークシートを用いて自分の言葉で書き、発言するような取組を実践していく。</p> <p>(共通②)</p> <p>電子黒板やタブレット端末を利用して、グラフ・地図・映像などを提示することによって、生徒の理解を促し、その資料から原因や背景を読み解くようにする。</p> <p>(共通③)</p> <p>授業の中で、視覚的な教材・資料を多く使用し、その資料を用いて多くの思考ができるような実践をしていく。</p>	<p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークや、グループワークを積極的に取り入れ、自分の考えを共有して比べるような場をつくり、表現の仕方について他者から学ぶことができるようにする。 ・単元や前時とのつながりを大切にし、比べて似ている部分や異なっている部分に気づき、自分の言葉で「書き」、「話す」時間をつくる。 ・知識も確実に定着させるため、「月例テスト」を行い基礎・基本の力の充実を図る 	